

12月
25

日台漁業取決め及び日中漁業協定の 見直し等を求める要請

池田副知事は、農林水産省と外務省を訪れ、「日台漁業取決め及び日中漁業協定の見直し等」を要請しました。

本県漁業者が台湾漁船とのトラブルに不安を抱えながら操業していること、特に八重山北方三角水域において台湾側の漁具が日本側水域へ多数流出していることなどを説明し、本県漁業者の安全と権益の確保や水産資源の適切な管理のため、同取決めと同協定の見直しを求めました。



県からの要請に係る手交の様子
(左：山本農林水産大臣政務官、右：生稲外務大臣政務官)

1月
18

おきなわ花と食のフェスティバル 2025

玉城知事は、奥武山公園で開催された「おきなわ花と食のフェスティバル2025」の開会式に出席し、会場を視察しました。

知事は、「このフェスティバルは、冬の沖縄を代表するイベントとして広く定着し、今や沖縄の農林水産業の振興に欠かせない重要な行事の1つとなっています」とあいさつしました。

会場では、生産者が丹精込めて育てた農林水産物の展示即売や加工品のコンテストなどが行われ、2日間で延べ11万3千人が来場し、多くの家族連れでにぎわいました。



1月
8

ハワイ沖縄移民125周年記念式典

池田副知事は、米国ハワイ州で開催された「ハワイ沖縄移民125周年記念式典」に出席しました。記念式典は、1900年1月8日、26人のウチナーンチュが初めてホノルルに到着した日から125年となることを祝い、ハワイ沖縄連合会会員によるスピーチや「沖縄移民の父」 當山久三に関する講演などが行われ、最後は参加者全員のカチャーシーで締めくくりました。副知事は、沖縄戦や首里城火災の際のハワイからの支援に対して感謝を伝え、125周年を契機に次世代の育成やハワイにおける県系人のさらなる活躍に期待すると述べました。



1月
19

「沖縄のこころ」平和啓発シンポジウム を開催

県は、東京都新宿区で「沖縄のこころ」平和啓発シンポジウムを開催しました。

シンポジウムでは、歌手の宮沢和史氏が「島唄」制作のきっかけとなった元ひめゆり学徒隊との出会いや、歌詞に込めた平和への思いについての基調講演を行いました。またパネルディスカッションでは、玉城知事のほか、世界の平和構築に向けてさまざまな分野で活躍する方々が登壇し、沖縄戦の教訓をどのように次世代に継承し、世界平和に貢献するか議論しました。



シンポジウムの様子



「島唄」を披露する宮沢和史氏

3
2025
MARCH

美ら島 沖縄

vol.594
ちゅらしま おきなわ

- 02 沖縄県はSDGsを推進します！
「SDGs全国フォーラム2024沖縄」を開催しました。
- 03 県政フラッシュ
- 04 特集：ひとりで抱え込まず、まずはご相談ください
生活困窮者自立支援制度
- 06 沖縄産業クロニクル [銀行編]
- 08 県職員の人材確保 技術系職種の紹介②(農業土木編)
- 09 県の動き1 おきなわ津梁ネットワークに参加しよう！
県の動き2 みんなで広げる学びの輪！「まなびネットおきなわ」
- 10 てくてく わがまちさんぽ [伊平屋村]
- 11 県の動き3 クリーンエネルギーを導入しよう
- 12 情報ひろば
- 14 県の動き4
「沖縄県動物の愛護及び管理に関する条例」が令和6年12月に制定されました
- 15 読者プレゼント・広報課から3月のお知らせ・読者の声

沖縄の人口・世帯の動き
2025年1月1日現在

146万8,000人
総人口 ※前月比244人増加

65万3,466世帯
世帯数 ※前月比550世帯増加

沖縄県庁広報課
公式LINE
@okinawa-
government



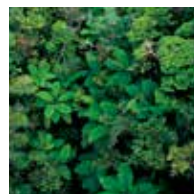
沖縄県庁広報課
公式X (旧Twitter)
@okinawa_pref



今月の表紙

「東村 シダの森」

大きく葉を広げるヒカゲヘゴなどの
さまざまな樹木は、清らかな水を
生み、貴重な生き物の生息環境を
守るなど、豊かな森を育てています。



本号の電子Book版とバックナンバーは
ホームページでご覧いただけます。

[美ら島沖縄の設置場所] [美ら島沖縄]



県内コンビニ、モノレール各駅等で無料配布して
います。また、公共機関や銀行、病院など多くの方が利用する
施設でもご覧いただけます。新規設置施設も受け付けていますので、
関心のある方は広報課までご連絡ください。なお、全世帯向けの
戸別配布は致しかねます。ご了承ください。



賞与奨学生(高校・大学等)
令和7年度募集要項はこちらから▶▶▶

